

# 平成29年度三次市学力到達度検査結果分析及び指導改善計画

三次市立三和中学校

## 1 国語

学年	【教科指導について】 〔目標、結果については、全国平均との差を記入 (pt)〕 ○これまでの取組の成果 ●課題				【学習に対する意識について】 教科学習に対する意識調査から見られる 生徒の姿及び課題	【教科指導工夫改善の具体】 課題に対する具体的な取組
		目標	結果			
第1学年	話す・聞く 能力	13.0	6.5	○「書くこと」の領域で、すべての正答率を大幅に上回った。(全国+26.8p) ○説明文に関する問題の正答率が上回った。特に、構成と展開の両方についての正答率が大幅に上回っている。(全国+28.5p) ●文学作品の正答率が全体的に低く、特に、登場人物の様子を捉えることに課題がある。(全国-18.7p) ●文節の理解に課題がある。(全国-36.3p)	○「自分の思いや考えを積極的に話している」と答えた生徒が多い。(全国+11p) ○「国語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることがあるか」での肯定的評価が高い。(全国+7.9p) ●「わからない言葉があるときは、国語辞典を使うか」で、「どちらかといえば使わない」「使わない」と答えた生徒が75.0%と多く、日常的に辞典を使っていないことが課題である。	①文法の復習をプリントやドリルとして出したり、定期的に小テストをしたりして定着を図る。 ②授業で国語辞典を用意して、文章中の語句を調べさせたり、宿題で意味調べをさせたりして、日常的に国語辞典を使うことを意識させる取組をする。 ③文章中から、情景描写や登場人物の言動を取り上げ、登場人物像をとらえるための取組を継続して行う。
	書く能力	10.0	26.8			
	読む能力	2.0	0.3			
	言語	10.0	3.6			
第2学年	話す・聞く 能力	10.0	-3.4	○「書くこと」の領域で、すべての正答率を上回った。(全国+16.3p) ○文学作品に関する問題で、すべての正答率を上回った。(全国+6.0p) ●「話す・聞く」の領域で、話し方の工夫の聞き取りに課題がある。(全国-13.4p) ●漢字の読み取りで、日常的に使われない読み取りに課題がある。(全国-16.1p)	○全体的に肯定的評価が高い。 ・1ヶ月に読む本の冊数：4冊以上(全国+23.3p) ・わからない言葉があるときは国語辞典を使う。(全国+24.4p) ●「自分の思いや考えを積極的に話しているか」で、「そうしてない」と答えた生徒が11.1%おり、全国の回答よりも高い。思いや考えを表現することに関して課題がある。	①話し合い活動として、討論やプレゼンテーションを取り入れ、話し合いの様々な形態を身に付けさせる。 ②話し合い活動で、自分の考えや意見を話す機会を増やし、発表させる場面を、授業の中で意識して取り組む。 ③文法の復習をプリントやドリルとして出したり、定期的に小テストをしたりして定着を図る。
	書く能力	13.0	16.3			
	読む能力	10.0	6.0			
	言語	8.0	5.1			
全体	○「書くこと」の領域の正答率が、全国の正答率を上回っている。 ●文法や漢字の読み取りなど、言葉に関する基礎的・基本的な知識が定着していない。				○1年生の「国語辞典を使うか」の回答以外は、全国よりも肯定的評価が高い。 ●2年生の「自分の思いや考えを積極的に話しているか」での評価が、前年度よりも肯定的評価が上がっているが、引き続き課題である。	①文法や漢字の宿題やドリルを行い、定期的に小テストを行う。 ②話し合い活動を意識して授業内に取り入れる。

2 社会

学年	【教科指導について】 〔目標、結果については、全国平均との差を記入 (pt)〕 ○これまでの取組の成果 ●課題		【学習に対する意識について】 教科学習に対する意識調査から見られる生徒の姿及び課題	【教科指導工夫改善の具体】 課題に対する具体的な取組
	目標	結果		
第1学年	思考・判断	2.0 5.0	<p>○「歴史上の人物やできごとに関する本を読むことが好きである」と答えた生徒が 66.7p (全国+6.3p) であった。</p> <p>●「社会の学習が好き」と答えた生徒が 25p (全国-40.2p) であり、学習意欲について大きな課題である。</p>	<p>①教室に歴史上の人物やできごとに関する本を置き、興味・関心を高めていきたい。</p> <p>②「教えて考えさせる授業」の一層の深化を図り、特に理解深化の場面を活用して学力の定着を図る。</p> <p>③世界の人々の生活のようすについて、視聴覚教材を準備し、世界のようすを具体化していく。</p>
	技能	8.0 7.3		
	知識・理解	11.0 5.6		
第2学年	思考・判断	7.0 3.4	<p>○「社会の勉強をしたことによって、新聞やニュースに関心を持つようになった」と答えた生徒が 77.8p (全国+18.6p) である。</p> <p>○「社会の勉強が好き」と答えた生徒が 50p (全国+8.9p) であった。</p> <p>●「生活の中で役立つ」と答えた生徒が 61.1p (全国-3.9p) であり、生活と関連付ける指導が必要である。</p>	<p>①学習内容と生活との関連を意図的に仕組むとともに、社会科の学習の大切さに気付かせ、学習意欲の向上を図る。</p> <p>②「教えて考えさせる授業」の一層の深化を図り、特に理解深化の場面を活用して学力の定着を図る。</p> <p>③世界に関する学習について、ドリル学習などを取り入れ、理解を深める。</p>
	技能	10.0 -0.4		
	知識・理解	7.0 1.7		
全体	<p>○1年生は全国平均を+6.5p、2年生は全国平均を+9.3p 上回り、一定の成果が見られた。</p> <p>●1、2年生ともに、学習内容が「世界の人々のようす」や「世界と比較した日本」のように、世界と関わる問題になると全国平均を下回っている。</p>		<p>●「社会の学習が好き」という項目に対し、1年生では全国平均を大きく下回り、2年生は全国平均を上回っているが、決して高いわけではない。</p> <p>●「生活の中で役立つ」と答えた生徒の割合が低く、学習内容と実生活を結び付ける指導が重要である。</p>	<p>①学習内容と時事問題などを関連させ、ニュースなどに関心を持たせ、学習意欲の向上を図る。</p> <p>②視聴覚教材を積極的に活用する。</p> <p>③小テストやドリル学習を積極的に取り入れ、学力の定着を図る。</p>

3 数 学

学年	【教科指導について】			【学習に対する意識について】 教科学習に対する意識調査から見られる生徒の姿及び課題	【教科指導工夫改善の具体】 課題に対する具体的な取組	
	目標	結果	【目標、結果については、全国平均との差を記入 (pt)】 ○これまでの取組の成果 ●課題			
第1学年	考え方	10	7.1	<p>○基礎・活用及び全領域で全国平均を上回った。特に、活用の表現で+11.4p 上回った。</p> <p>○図形の領域が全国より+11.6p で、特に、直線の平行関係を「//」を使って表す問題で+23.2p と高くなった。</p> <p>●方程式、不等式に関する問題に課題があり、簡単な方程式を解く問題が全国より-14p、数量を不等式で表す問題が全国より-15.5p となった。</p>	<p>○「数学の勉強が好き」と答えた生徒が 66.7%(全国+7.5p) であり、入学当初の授業アンケートや学期末のアンケートと比較すると大幅に伸びてきている。</p> <p>●「数学の授業中にいろいろな考え方を話し合うが好き」と答えた生徒が 33.4%(全国-16.7p) と低く、対話的な学習に課題が見られた。</p>	<p>①教えて考えさせる授業での理解確認や理解深化の場面を活用して、ペアやグループで解き方を交流する場を積極的に設定する。</p> <p>②計算小テストを利用し、毎時間反復練習を行う。</p> <p>③数量関係を方程式や不等式で表す問題をさせ、立式の過程などを説明させる。</p>
	技能	10	2.4			
	知識・理解	10	7.2			
第2学年	考え方	10	9.6	<p>○基礎・活用及び全領域で全国平均を上回った。特に、活用の思考力・判断力で+10p 上回った。</p> <p>○数と式の領域で全国を+9.6p 上回り、基礎計算に加え、説明する問題で全国より+17.9p と定着が見られた。</p> <p>●図形の領域が低く、全国より-3.7p であった。特に図形の性質に関する問題で課題が見られた。</p>	<p>○「数学の勉強が好き」と答えた生徒が 83.4%(全国+29.7p) であり、意欲的に数学の学習に取り組むことができている生徒が多い。</p> <p>○「解けなかったときにふり返る」と答えた生徒が 83.9%(全国+19.1p) であり、解けなかった場合に、理由を考えたり、解き直そうとしたりする生徒が多い。</p>	<p>①図形の性質を確認させ、証明問題を練習させる。このとき、穴埋め問題と記述式の問題を準備し、複数回くり返し練習させる。</p> <p>②全国学力・学習状況調査や高校入試問題を活用し、課題発見・課題解決学習に取り組む。</p>
	技能	10	5.8			
	知識・理解	10	-0.7			
全体	<p>○1年生は全国平均を+5.0p、2年生は全国平均を+4.6p 上回った。</p> <p>○基礎・活用ともに一定の定着が見られた。</p> <p>●記述式の問題で全国平均は超えているが、約半分しかできておらず、課題が見られた。</p> <p>1年 50.0%(全国+11.4p)</p> <p>2年 47.1%(全国+11.6p)</p>			<p>○「問題が解けたとき、別の解き方を考える」と答えた生徒が多く、複数の解き方を見つけようとする意欲が高い。</p> <p>1年 75.0%(全国+22.5p)</p> <p>2年 72.2%(全国+26.4p)</p> <p>○「生活の中で役立つ」と答えた生徒が多く、数学と生活を関連付けることができている。</p> <p>1年 100%(全国+16.7p)</p> <p>2年 88.9%(全国+12.6p)</p>	<p>①授業前の小テストを単元ごとに作成し、小テストと授業をリンクさせる。</p> <p>②日常生活の事象を数学として考えさせる問題を増やし、解き方や自分の考え方を積極的に書かせる工夫を行う。</p>	

4 理 科

学年	【教科指導について】 〔目標、結果については、全国平均との差を記入 (pt)〕 ○これまでの取組の成果 ●課題			【学習に対する意識について】 教科学習に対する意識調査から見られる生徒の姿及び課題	【教科指導工夫改善の具体】 課題に対する具体的な取組
		目標	結果		
第1学年	科学的思考	10	12.3	○自然や理科についての読み物や図鑑、テレビ番組などをよく見ている生徒の割合が高い。 58.3% (全国+11.9p) ○理科の勉強で、分からないことや興味・関心をもったことについて自分から調べようとしている生徒の割合が高い。 58.3% (全国+4.4p) ●実験や観察をすることについて興味・関心がある生徒の割合が83.4% (全国-2.9p)と低く、実験や観察の学習意欲が十分に向上していない。	①小テストや復習ドリルを積極的に取り入れ、知識・技能の定着を図る。 ②課題発見・解決学習を積極的に取り入れ、実験・観察方法を考えたり、実験・観察方法の留意点を考えたりする活動を行わせる。 ③多くの実物を扱い、科学的現象を比較しながら授業を展開していく。
	技能	10	7.2		
	知識・理解	10	10.5		
第2学年	科学的思考	5	4.1	○分からないことや興味・関心をもったことについて調べようとしている生徒の割合が高い。 66.7% (全国+18.1p) ○自然や理科についての読み物や図鑑、テレビ番組などをよく見ている生徒の割合が高い。 50.0% (全国+9.0p) ●実験や観察をすることについて興味・関心がある生徒の割合が77.8% (全国-4.4p)と低く、実験や観察の学習意欲が十分に向上していない。	①小テストや復習ドリルを積極的に取り入れ、知識・技能の定着を図る。 ②課題発見・解決学習を積極的に取り入れ、実験・観察方法を考えたり、実験・観察方法の留意点を考えたりする活動を行わせる。 ③多くの実物を扱い、科学的現象を比較しながら授業を展開していく。
	技能	5	3.9		
	知識・理解	10	9.0		
全体	○おおむね、基礎的・基本的な知識・理解の定着が見られ、自然事象についての知識・理解の観点では、1、2学年ともに全国平均を9p以上上回った。 ●実験を行い、その結果を考えて説明する問題に課題が見られた。単に知識を身に付けさせるのではなく、なぜそのようになるのかを考えさせながら理解させる指導が必要である。			○1、2学年ともに、分からないことや興味・関心をもったことについて自分から調べようとしている生徒が全国平均を4p以上上回った。 ●実験や観察をもとに知識を身に付けることができるよう、多くの実験や観察を比較させて考えさせる指導が必要である。	○多くの実験や観察を行い、実験や観察をもとに知識を身に付けさせる。 ○生徒に課題を発見させ、その課題を解決するための実験・観察方法を考えさせたり、方法の留意点を考えさせたりする活動をさせる。 ○実験や観察を比較し、その共通点や相違点を考察させるを通して、実験・観察技能を身に付けさせる。

5 英語

学年	【教科指導について】 〔目標、結果については、全国平均との差を記入 (pt)〕 ○これまでの取組の成果 ●課題			【学習に対する意識について】 教科学習に対する意識調査から見られる生徒の姿及び課題	【教科指導工夫改善の具体】 課題に対する具体的な取組	
	目標	結果				
第1学年	表現の能力	10	-1.7	<p>○基礎は全国を上回った。 59.7%(全国+0.5p)</p> <p>○聞く力は全国平均を高く上回った。 内容理解86.1%(全国+5.3p) 聞くこと80.8%(全国+6.9p)</p> <p>●活用は全国を下回った。 46.3%(全国-2.0p)</p> <p>●書くことの正答率が低い。 22.9%(全国-5.2p)</p>	<p>○「英語が好き」と答えた生徒が83.4%(全国+17.8p)である。</p> <p>○「英語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じる」と答えた生徒が91.7%(全国+15p)である。</p> <p>●「英語の辞書を使います」と答えた生徒が25%(全国-19.3p)である。</p> <p>●「学校の廊下で、外国人に英語で話しかけられたら会話をする」と答えた生徒66.6%(全国-15.4p)である。</p>	<p>①毎時間、ノンストップトーキングの時間を設け、ペアで英語で考えて話す練習をする。</p> <p>②辞書を使い、ペアでスキットを制作し、覚えて発表させる。</p> <p>③ALT に授業以外でも積極的に生徒に話しかけてくれるよう促す。</p> <p>④毎日ノートに自由英作文等を書かせる。</p> <p>⑤英検の受験を促し、興味関心をさらに育てる。</p>
	理解の能力	5.0	2.8			
	知識・理解	5.0	-3.7			
第2学年	表現の能力	10	0.1	<p>○基礎で全国を上回った。 68.7%(全国+0.3p)</p> <p>○聞く力は全国を高く上回った。 対話文63.2%(全国+7.2p) 聞くこと79.7%(全+5.3p)</p> <p>●活用が全国を下回った。 45%(全国-1.2p)</p> <p>●長文の読み取りが全国をかなり下回った。 50.1%(全国-5.1p)</p>	<p>○「英語が好き」と答えた生徒が72.7%(全国+20.3p)である。</p> <p>○「学校乗の廊下で、外国人に英語で話しかけられたら会話する」と答えた生徒が、88.9%(全国+9.1p)である。</p> <p>○「英語の辞書を使う」と答えた生徒が、55.6%(全国+12.8p)である。</p> <p>●「テレビやラジオで英語番組を見たり聞いたりする」と答えた生徒が、33.4%(全国-4.4p)である。</p>	<p>①毎時間、ノンストップトーキングの時間を設け、ペアで英語で考えて話す練習をする。</p> <p>②速読の練習を入れ、長文を早くて正確に読む練習をする。</p> <p>③ALT の活用や英検等で生徒の英語に対する関心を高め、自らテレビやラジオの英語番組に対する興味を高める。</p> <p>④毎日ノートに自由英作文を書かせる。</p>
	理解の能力	5.0	1.9			
	知識・理解	5.0	-3.8			
全体	<p>○1年生に関しては、基礎は全国を上回っており、聞く力とコミュニケーションの関心・意欲は全国をかなり上回っている。</p> <p>○1年生に関しては、基礎は全国を上回っており、聞く力とコミュニケーションの意欲・ア関心は全国をかなり上回っている。</p> <p>●1年生に関して、活用が全国を下まわっており、読むこと、書くこと、語彙に課題がある。</p> <p>●2年生に関しては、活用が全国を下回っており、語彙や英作文に課題がある。</p>			<p>○「英語が好き」と答えた生徒が2学年とも全国を上回っており、英語が生活の中で役に立つと感じている。</p> <p>●1年生は、授業以外では辞書を使うやALT と話すなどの活動に消極的である。</p>	<p>○語彙に課題があるので、単語テストのフィードバックや繰り返しのドリルをさせる。</p> <p>○毎時間、必ず英語を話し続ける時間を設け、自己表現を定着させる。</p> <p>○話した英語を宿題や課題の中で書かせる。</p>	

6 生活と学習に関する意識・実態

学年	○一層定着させたい点 ●改善したい点	課題に対する具体的な取組																								
第1学年	<p>○「勉強は受験に関係なくても大切だ」、「勉強すれば、自分はよい成績をとれる」、「勉強すれば、自分の受験に役立つ」と答えた生徒が100%である。</p> <p>○平日に1時間以上勉強する生徒が100%である。(全国+27.4p)</p> <p>●土日に2時間以上学習する生徒が少ない。(全国+1.4p),</p> <p>●宿題があるときだけ勉強する生徒が多い。(全国+47.3p)</p> <p>●「学校に行く前に朝食を必ずとる」答えた生徒が、全国よりも低い。(全国-8.9p)</p>	<p>①学習することの意義や大切さを理解し、勉強することでよい成績がとれるなど自信もあるが、土日になると学習時間が減少する傾向にある。また、宿題があるときだけ勉強する生徒も多いので、個人面談や学活、SHRなどで自主的に学習をする風土を作っていく。</p> <p>②工夫されたノートなどを掲示し、意欲的に取り組むようにする。</p> <p>③養護教諭と連携を図り、食の重要性について積極的に発信していく。</p>																								
第2学年	<p>○「勉強は受験に関係なくても大切だ」で、「そう思う」と答えた生徒が多い。(全国+12.3p)</p> <p>○「ふだんの生活や社会に出て役立つよう勉強したい」の肯定的評価が高い。(全国+10.9p)</p> <p>●「学校に行く前に朝食をとりますか」で、「必ずとる」と答えた生徒が、全国よりも低い。(全国-15.8p)</p> <p>●「1日にどのくらい睡眠時間をとりますか」で、睡眠時間が全国よりも少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8時間以上9時間より少ない(全国-3.8p)</li> <li>・7時間以上8時間より少ない(全国-9.4p)</li> </ul>	<p>①勉強が必要であるという意識は高いが、朝食や睡眠時間などの結果から、家庭での時間の使い方に課題がある。定期的に行われる学習時間の調査や生活習慣の調査をもとに、各自の生活をふりかえさせるよう、学活で取組んだり面談を行ったりして意識づけを行う。</p> <p>②勉強の必要性に関する意識を持続させるために、課題提出の状況が優れている生徒に対する積極的評価を行うよう取組を取り入れると同時に、未提出や内容が不十分な生徒に対して放課後等での個別指導や家庭連携を行う。</p>																								
全体	<p>○「授業がよく分かる」と答えられる生徒を増やす。</p> <table border="0" data-bbox="279 1444 638 1635"> <tr> <td>1年</td> <td>よく分かる</td> <td>16.7%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>だいたい分かる</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>よく分かる</td> <td>5.6%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>だいたい分かる</td> <td>72.2%</td> </tr> </table> <p>●家庭学習の定着を図り、土日の家庭学習時間も伸ばす。(2時間以上)</p> <table border="0" data-bbox="279 1780 638 1971"> <tr> <td>1年</td> <td>平日 41.6%</td> <td>(全国+8.0p)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>休日 58.3%</td> <td>(全国+1.4p)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>平日 72.2%</td> <td>(全国+45.3p)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>休日 72.3%</td> <td>(全国+25.9p)</td> </tr> </table>	1年	よく分かる	16.7%		だいたい分かる	66.7%	2年	よく分かる	5.6%		だいたい分かる	72.2%	1年	平日 41.6%	(全国+8.0p)		休日 58.3%	(全国+1.4p)	2年	平日 72.2%	(全国+45.3p)		休日 72.3%	(全国+25.9p)	<p>①習得の授業では「教えて考えさせる授業」を通して、定着を図り、活用場面では、思考ツールの活用や集団思考の場を設定を行い、生徒が主体的に学習できる授業づくりを行う。</p> <p>②1人1回以上の「課題発見・課題解決学習」の授業を行い、1年間を通して、事例集として記録に残す。</p> <p>③家庭学習の定着を図るために、自学習ノート全員チェック体制の見直しを行うとともに、ベストノートの表彰を行う。</p> <p>④家庭学習時間を増やすため、テレビやゲームの時間を減らす取組を行い、家庭との連携をさらに強めて進めていく。</p>
1年	よく分かる	16.7%																								
	だいたい分かる	66.7%																								
2年	よく分かる	5.6%																								
	だいたい分かる	72.2%																								
1年	平日 41.6%	(全国+8.0p)																								
	休日 58.3%	(全国+1.4p)																								
2年	平日 72.2%	(全国+45.3p)																								
	休日 72.3%	(全国+25.9p)																								